

できるかな？

保護者の皆様には、休業期間中、子供たちが「知る楽しさ」「学ぶ楽しさ」を味わい、学習習慣の維持、学習意欲の向上のために、ご協力いただきたいと思います。

9月7日

ローマ字の決まりは見つけられましたか。完成した50音表はこれからも一つのアイテムとして使えます。そして、ローマ字で自分の名前を書いたり、読んだりと……。

プラス、ICT機器を使うときにも。音声入力もできるようになってきてはいますが、キーボードから文字を入力するときには、頭の中でローマ字を思い浮かべること、キーボードのアルファベットの配列（どこにどのアルファベットのキー（ボタン）があるか）を覚えておくことが多重要です。慣れてくると、キーを見ないで文字を打てる人もいます。キーボードの練習ソフトを使ってみるのもよいですね。

今日は、音読に挑戦！去年「できるかな」やった人は、知っているかもしれませんが、一つは、書いてある言葉の意味や様子や気持ちを思い浮かべながら読みましょう。もう一つは「、」や「。」まで一息（ひといき）で読んでみましょう。この2つです。高学年の説明的文章は「、」や「。」までが長い文になると息が続かないかもしれません。読む前に姿勢（しせい）や呼吸（こきゅう）を整えておくことも大切です。国語（上）の教科書を出し、夏休み前までに学習したものでよいです。文学的文章でも説明的文章でもok！

マスクをしているので発語しにくいかもしれませんが、人にわかりやすく読み聞かせるにはどんな読み方がよいのか工夫してみましょう。近くに聞いている人がいる場合は、聞きやすかったか、どこができていたのか聞いてみましょう。

今日の音読で得たことは、きっと、これからの学習、社会に出てからのコミュニケーションに役立ちますよ。繰り返し、音読してみましょう。

チャレンジしてみましょう！

9月8日

今日は、言葉集めをしてみましょう。見えた物を、まず、「ひらがな」で書いてみましょう。そこから、心の中に浮かんだものを「ひらがな」で書いてみましょう。たくさん集められるとよいですね。50音の何から始まる言葉が多かったか調べてみましょう。

「あいうえお」を「ア行」、「かきくけこ」を「カ行」……と言います。小学校で使う子供用の国語辞典の小口（こぐち：本の側面）には、辞典を引きやすくするために「あかさははまやらわ」と色をつけてあるものがあります。よく見るとカ行やサ行の言葉が多いようです。特に、「し」から始まる言葉は多いです。逆に「ラ行」の「る」で始まる言葉は少ないようです。

実際に、国語辞典を見てみましょう。そして、先ほどひらがなで書いた言葉を辞書で見つけて、漢字で書くことができるものは漢字にして見ましょう。

国語辞典を使って「しりとり」を試してみるのも面白いですね。電気を使わないゲームや遊び感覚の中で、たくさん言葉を知ることのできるよい機会になると思います。

この機会に、「辞書と友だち」になってみましょう

チャレンジしてみましょう！